

# 東輝中便り

第10号



## 一年間ありがとうございました。

校長 川勝 哲也

寒暖の差がまだ残り、多少不安定な天候が続いており、確実に春の訪れを身近に感じられるようになってきました。学校便りも最終号になりました。令和3年度を終えるに当たり、改めて、保護者の皆様、校区の皆様、各関係機関や各種団体の皆様には、本校の教育活動の推進に様々な側面から深いご理解と力強いご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。また、コロナ禍における生徒達の健康面と安全面に係る学校の取組に対してご協力いただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

今年度は、昨年度の1学期前半のような長期にわたる臨時休校措置はありませんでした。ある程度予想されていた感染拡大の3度の波の流行がありました。入学式・卒業式・修学旅行(校外学習)、体育祭・文化祭といった行事や各種大会、コンクール、発表会の延期や中止、規模縮小、変更など、校内外における感染拡大の防止のために、本当に多くの制限の連続で複雑な思いを持ちながら、年度末を迎えることとなりました。

ふり返ってみますと、2020年1月20日に横浜港を出港したクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客で、香港で下船した男性が新型コロナウイルス感染症に罹患していたことが確認されてから2年少し経ち、これまで国内で約570万人という誰も想像しなかった数の人が感染しました。

この新型コロナウイルス感染症が完全壊滅した場合の『終息』、社会情勢が落ち着き事態がある程度収まった場合の『収束』、いずれの「しゅうそく」もまだまだ先のことでないかと否定的に考えてしまう人も多いのではないのでしょうか。現在、過去最大の感染者数と死亡者数を記録し、大きな爪痕を残した第6波の流行はピークは過ぎ、日本全体での感染者数は減少傾向となつていますが、第5波が流行した時のような急速な減少はありません。その第5波で主流であったデルタ株にはワクチン接種による感染予防効果が高かったことにより、ワクチン接種が早く進んだことが減少の大きな要因であったと考えられます。第6波で主流となつているオミクロン株には、ワクチン接種が重症化予防の効果は維持されていますが、感染予防効果が低いことから、今後早い段階で下げ止まりとなり上昇に転じる可能性があります。最初に第6波を迎えた沖縄県では、いち早く新規感染者数が減少しているともとれる状況が見られます。

今後、オミクロン株の下位系

続B.A.2が広がると再拡大が起こりやすくなるかと考えられ、これまでより早く次の流行、第7波が起る可能性があり、早急に対策を準備しておく必要があります。オミクロン株は感染者が不織布のマスクをしていても、50センチ以内での会話で感染リスクを高めることが理化学研究所より報告がされており、マスクをしていても安心せずに、人と話す場合は距離をとり接近時間を短くするなど対策を忘れないでほしいと訴えられています。ワクチンだけでは感染を防ぎ切ることが困難ですので、学校としましては、来年度もコロナ禍の情勢が大きく好転しない限り、今年度同様の感染予防対策の徹底が求められると考えておりますので、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。1年間ありがとうございました。

## 第41回卒業証書授与式

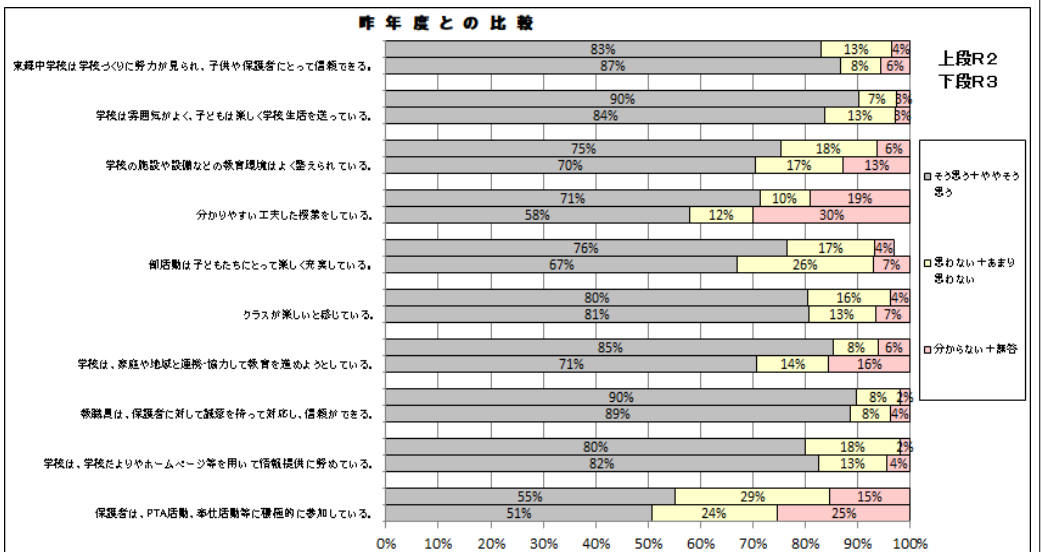
3月11日(金)第41回卒業証書授与式が挙行されました。今年も新型コロナウイルス感染症予防対策のため規模を縮小した卒業式になりました。天候もよく穏やかな日差しに、つまずき、無事に終えることができました。



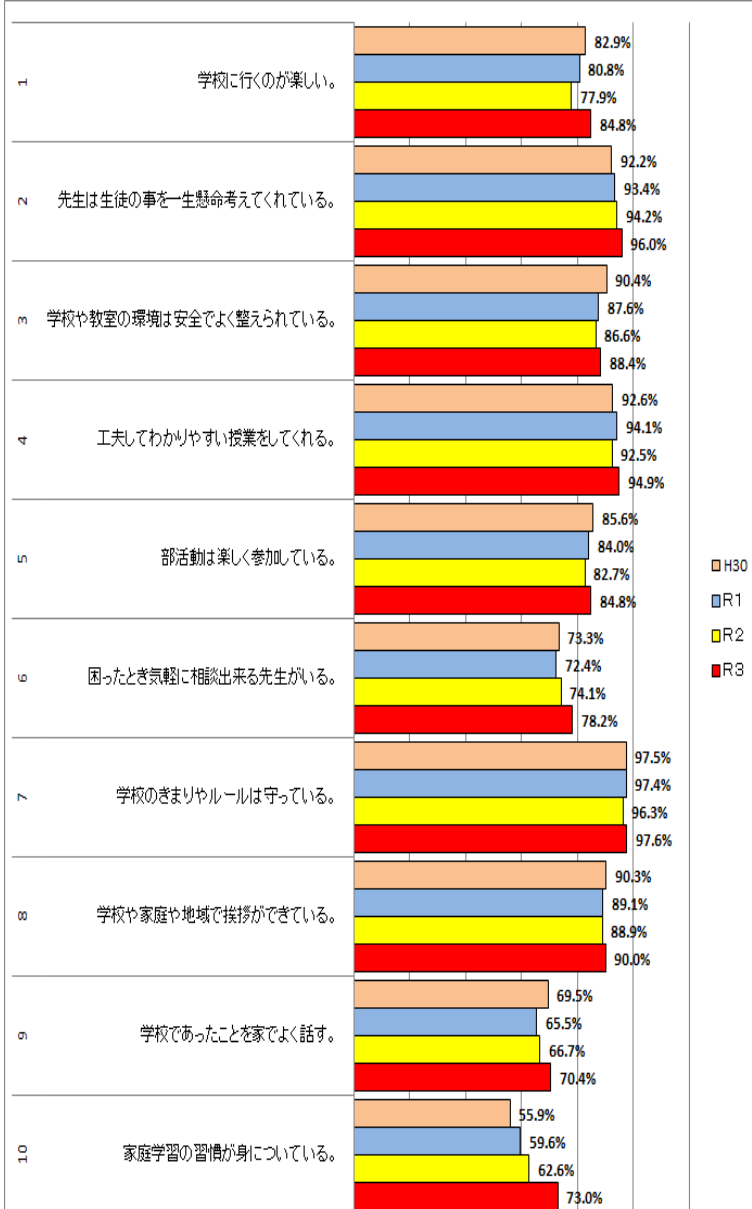
## 東輝中学校の「学校生活に関するアンケート調査」結果について

過日、保護者の皆様にご協力いただきました「学校生活に関するアンケート調査」についてご報告させていただきます。ご意見欄には保護者の皆様より、大切なお意見やご指摘、励ましのお言葉をいただき、ありがとうございました。今回のアンケートを受け、生徒一人一人が大切にされる学校づくりを基盤に、わかりやすい授業、学力向上に繋がる授業を目指して、教職員一丸となって、努力を重ねていきたいと思っております。

## 「保護者アンケート」の結果

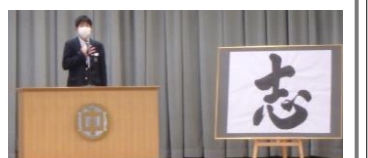


## 「生徒アンケート」の結果



## 「志」発表会

4日間わたるクラスでの志作文の発表を終え、各クラス2名ずつの代表者が決定しました。計8名の代表者は放課後に何度も発表の練習をし、本番に臨みました。教育委員会から2名の来賓の方を招き、学年の全生徒の前で自身の志を発表しました。緊張しながらも堂々とした発表をし、聴き手に思いをしっかりと伝えることができました。自分自身の志実現に向け、気持ちを新たに一人一人している様子でした。



- 優秀賞(個人)
- 津田 知己 (水泳)
  - 永澤 煌希 (水泳)
  - 井上 璃子 (水泳)
  - 寺田 莉央 (陸上競技部)
  - 遠藤 鈴奏 (陸上競技部)
  - 安福 実桜 (陸上競技部)
  - 北橋 怜 (空手)
  - 永田 遥士 (空手)
- 優秀賞(団体)
- 北橋 遥士 (空手)
  - 永田 遥士 (空手)

